



韓国ソウル市のジョントイル銅像前にて撮影

SSKS

The Heartful Place
ほっと
Hot Space Natchall

「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

2008年新年号

120号

定価 100円

編 集 人
電 話
F A X
ホ ン ト ス ペ ー ス
E - M a i l
郵 便 振 替 所

八王子市八幡町三二二ふくしまやビル二階
「ほっとスペース八王子」(代表 堀部 正)

〇四二一六二八一三三一九
〇四二一六二〇一七七八六
http://homepage2.nifty.com/hotSPACE/
CXBO1672@nifty.ne.jp
〇〇一八〇七六二四六「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六一二六一二二 障害者団体定期刊行物協会

目次

特集 新年明けましておめでとう
 寄せ書き 2頁
 新年の抱負
 新年に望んで / 新年を迎えて / 新年の抱負 4頁

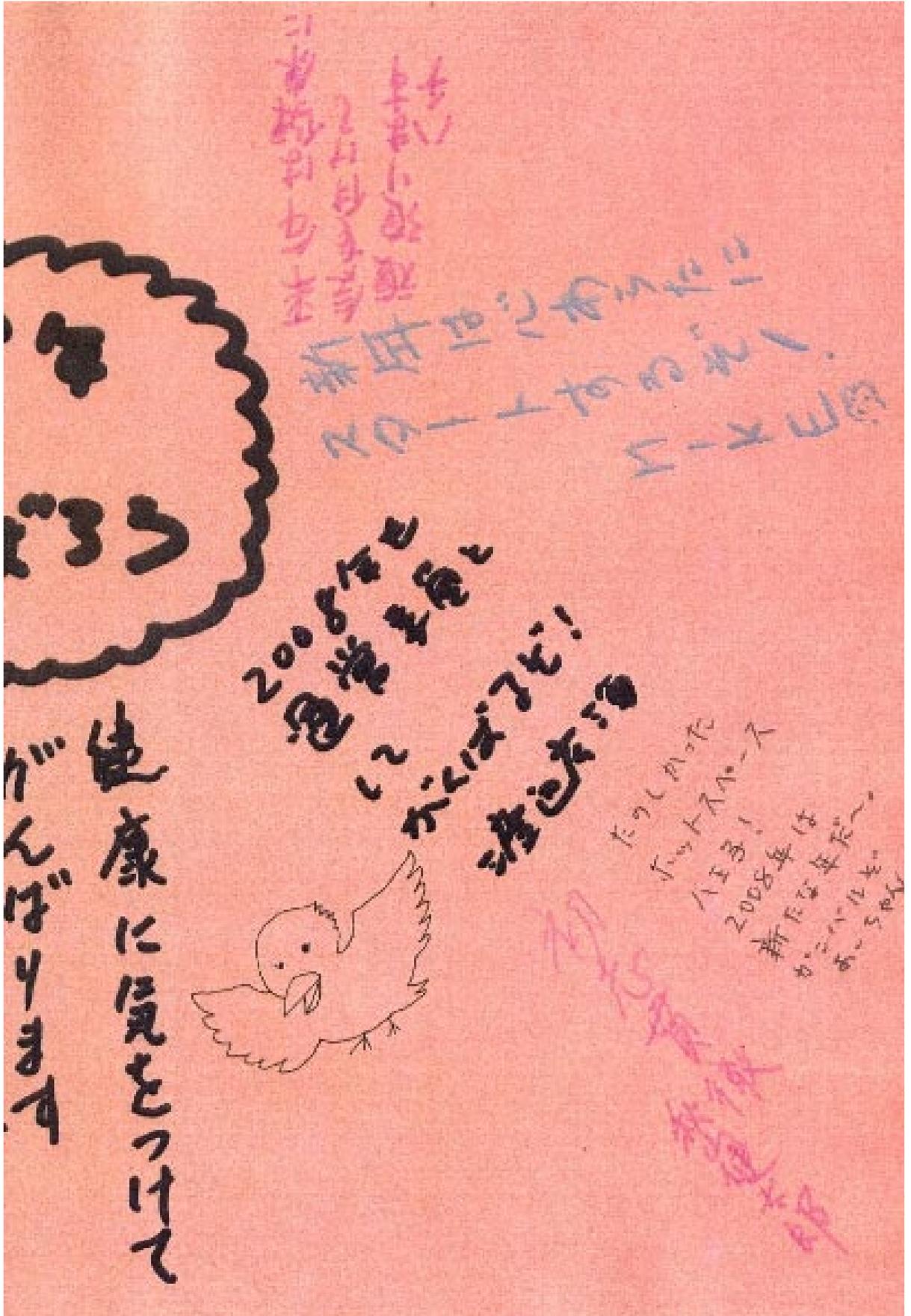
特集 行ってよかった海外研修。韓国研修旅行に参加して
 韓国研修旅行に参加して～幻想を断って地道な運動を～ 5頁
 韓国旅行 / キムチ最前線南下中 / 韓国研修初体験旅行記 6頁～15頁

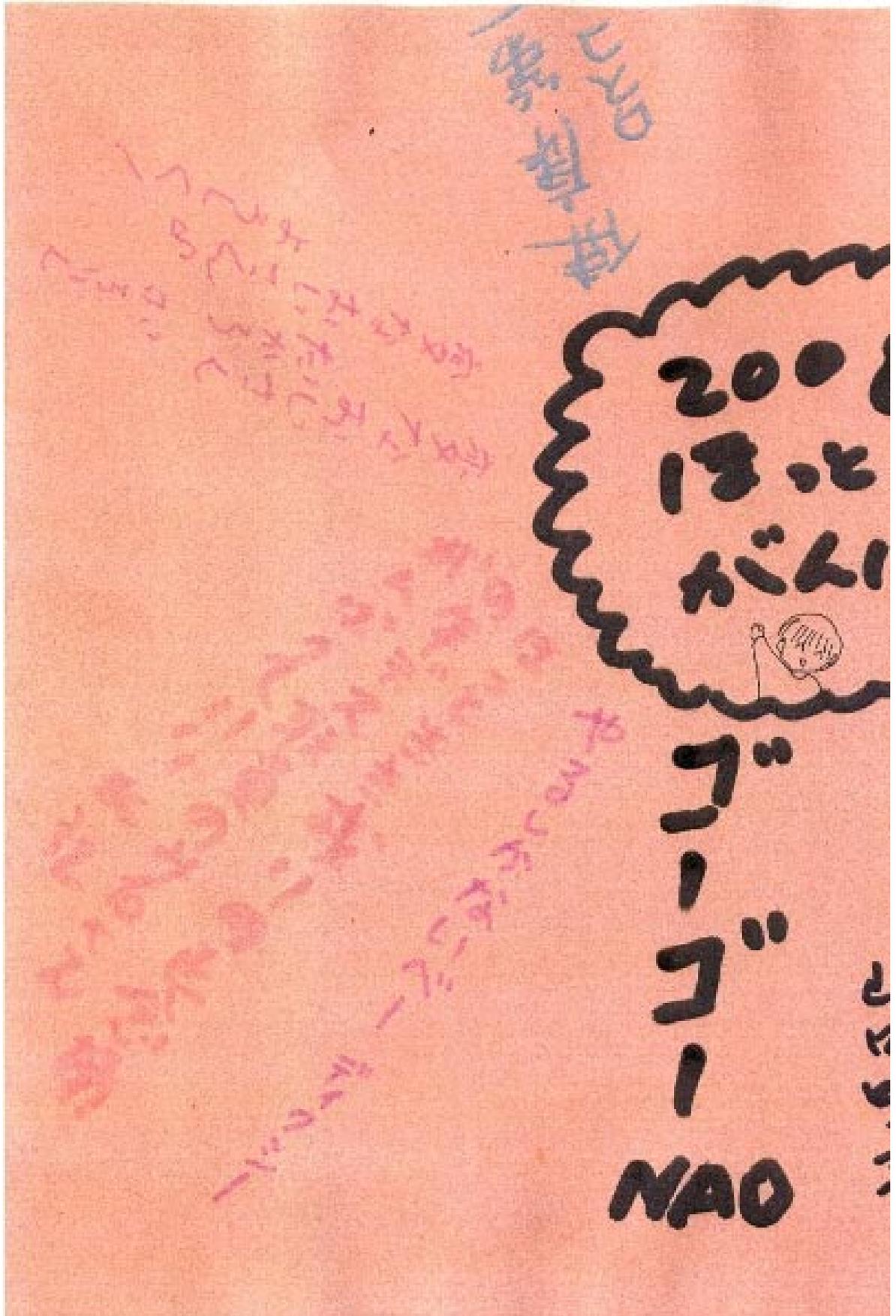
特集 「障害者自立支援法」10.30 全国大フォーラム開催さる 15頁

特集 11/4 労働者集会に参加して 16頁

特集 高尾山フロッピー日帰り旅行
 高尾山フロッピー日帰りツアーに参加して / 日帰りツアーフロッピー
 に参加して / 日帰り温泉旅行 17頁

その他
 自閉症裁判傍聴記 / MIKE の 俳句コーナー / 新会員紹介 18頁
 新職員紹介 / 韓国発 AP 電ニュース / 編集後記 / 会員募集 20頁







明けましておめでとうございませす。
今年もよろしくお願ひ申し上げませす。

2008年元旦 ほっとスペース会員一同

《新年に向けての抱負》

新年に臨んで MIKE

2007年、

ほっとではいろいろなことがありました。職員一さんの結婚では皆でお祝いして盛り上がり、メンバーのKさんが亡くなったときには皆悲しみに包まれて、気が重かったです。私自身の生活では、アルバイトが結構忙しくて疲れました。幸い風邪にかからずに済んでいるので(今のところはですが…)、暖かい湯船につかったりリラックスした後、体を休め、就寝をしっかりとって疲れを取り元気を回復させていました。世の中の動きは又、様々な問題を抱えて流れていくようで、私たちにとって困る物価の値上げも原油高騰によってやむなく実行される事態になつています。福祉切捨て政策で年金、生活保護がどんどん削られてゆき、消費税の増税も近い将来に実行されるのが確実ですから、



先行きが暗いとわかっていても生活をしっかりと保って持ちこたえていきたい。ほっとにも可能な限りの通い続けたいから、これからもできる限りの手伝いをしたいと思っています。自宅の外へ出ることが気分転換になっている私にとって、ほっとは思っている以上に大事と考えています。新年にはこれまでよりも役割をこなす気構えています。また、世の中の流れに遅れないように情報に敏感でいたいし、勉強もしたいです。職員さんの努力とメンバーの協力がかみ合つてほっとの2008年が良いものとなって欲しいと私は思っています。

新年の抱負 武田晴海

私の2007年を振り返ると、3ヶ月くらい、入院して退院した後、一週間ほど元気に暮らしましたが、その後また病気が押し寄せてきて、集中力がなくなり、新聞も満足に読めない状態になりました。今年(2008年)は、根を



つめて、耐久力をつけて、健康に留意して、時間がかかってもいいからゆつくとテーマを片付けていきたいと思ひます。また入院をするとなかなか制約があり、だんだんと不満がたまつてくるので調子悪くても入院しないで、元気を心がけて、暮らして行こうと思ひています。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年に向けての抱負

渡辺広海

去年は運営委員として1年がんばった。市役所売店研修もやった。バイトも始めた。多摩一般労組にも入った。来年も運営委員に立候補して、市役所の売店研修もやりたい。バイトの時給が上がるように努力したい。



新年に向けての抱負 山口咲子

新年に向けての抱負は特にないけれど平穩無事に過ごしたいと思う。それと大の仲良しだった照代さんの世界のこともあるので、健康に気をつけて過ごしたいと思ひます。また、ほっとの行事にも無理のない程度に参加したいと思ひます。



新年を迎えて Nao (新会員)

早く、病院がよいが終わるようにと祈ります。



新年の抱負 ロス口(新会員)

2007年を振り返ってみるとやはり夏場に調子を崩したということが頭に浮かびます。暑さに弱く対処法を知らないのが毎年夏には参つてしま

者の戦闘性に学ぶのはよい。しかし、そこはあくまで韓国だ。いくら激しく機動隊とぶつかり合っても、それは彼らの長年の運動の質であり責任を負っての



民主労総前段集会に参加して

の戦いの中で、私は会員(病者)、中小零細で働く人々と共に歩んでいこうと考えている。もうひとつ心をうたれたのは、西大門刑務所歴史館である。日本帝国主義が韓国独立を戦つた人々を弾圧、虐殺するためにこの刑務所施設を作った。日本の半端ないわけなど通用しないのだ。右派ジャーナリストらは、まずこれらを見よ!といたい。ほっとの全ての人で共有したいと思う。酒を飲んで、明洞(ミョンドン)の焼肉屋でだまされもしたが(焼肉屋案内係の巧みな口車に乗って注文した結果90万ウォン以上を請求された)、まだまだ韓国には学ぶところ多しということでしょうか。

11月9日に出発した韓国旅行は、まず私が成田で化粧品(液体)機内持ち込みで引っぱり、そして所長もひっかかり、トホホであった。気を取り直し機内食を食べ、ポーツとしているうちに仁川(インチョン)空港に着いた。早いもので、国内旅行の感覚でした。そして旅行会社が用意してくれたワゴン車でいざ現代レジデンスへ。ガイドさんのウーさんは昨年も担当してくれた方で、見事な日本語を操り、いろいろ話が弾んでいた。ホテルに着き、夕食を食べ、明洞(ミョンドン)の繁華街に出かけた。私はたらのキムチ鍋が美味しかった。その後屋台に

行ってよかった、海外研修。韓国研修旅行に参加しよう

《韓国研修旅行に参加して》
幻想をたって地道な運動を!

運動であろう。一部ではあるが、それに感動して(??)、日本でも同じような運動を!と考えた人々が存在する。しかし歴史を学ばない運動はありえない。学生であれ、労働者であれ、日本では40年近く前に体験済みのことである。あの延長線上になんかあったのか。よく総括した方がよい。国家権力や資本を恐れないという思想の質は重要だ。これなしに、私たちが考える運動はありえない。数年先の作業所をめぐる攻防、多摩一般労組での取り組み、これらは行政(国・都・市)との戦いであり、中小零細資本との戦いでもある。警察の介入もあるだろう。こ

韓国研修旅行

ディクシー



西大門刑務所 - 独立運動の闘士たち



韓国研修旅行体験記



行き地元のIT企業に勤める若者たちと交流した。

一日目は西大門刑務所を見学。ここで日本人が韓国の人に対してどんなにおごいことをしたかわかった。そして私と他の女性2人とMさんが一度ホテルへ戻った。夕方民主労総の集会の前夜祭があったので待ち合わせ場所に行ったが、他の人たちはなかなか現れず、近くの海鮮料理屋のカニ(ウマそうだった!)を食べて帰ろうかかなと思った。

前夜祭が始まり、すごい熱気が集会をおおった。日本のデモとは全く違うと思った。機動隊の数の多さにもびっくりした。女性陣は早く



ミョンドンにて韓国料理を食す

帰ったが労働者と機動隊の戦いは激しかったらしい。

三日目、安重根(アンジュンゴン)記念館を見学。伊藤博文を暗殺した人だ。左手の薬指中ほどまで切り落としていたのが印象に残った。そしてそこは小高い山になっていて頂上まで登った。帰りはロープウェイで降りた。昼食をとって本集会へ。

最初は機動隊に囲まれたため、本集会の輪の中に入ることができず困ったが、何とか参加することができた。その後、チョンテイルの胸像を見るために川沿いを1時間半も歩いた。これにはさすがにまいった、まいった!。そして夕食。待ちに待った本場の焼肉! マッコリ、キムチ! いっぱい食べていっぱい飲んだ。この日が一番楽しかった力モネ。そして帰りの日。所長は、帰りもまた空港でひっかかったが、他の人は何事もなく無事に帰ってこられた。機会があったらまた行ってみたい。



本集会に参加して、ウイスキーをゲット

韓国旅行

渡辺広海

まず出発当日の朝7時45分に京王八王子の駅に、

八王子出発組が集合しました。現地で落ち合う人もいたため、集合したのは5人。私はデジカメ係だったので、作業所持のデジカメを2つ持っていきました。新宿まで行って、JRに乗り換えて、日暮里到着。すぐさま京成スカイライナーに乗りました。障害者割引で片道500円で行けました。ラッキー。成田に10時ごろ着いて、成田組と合流。アシアン航空101便に乗るため手続きをしていたのですが、作業所の所長がテロリストとしてブラックリストに載っている(?)らしく、ちょっと時間かかりました。無事乗れましたが、11時30分に離陸。そのまま韓国仁川(インチョン)空港までフライト。機内で機内食が出たため、これを昼食として頂きました。おまけでコチュジャンのチューブパックがついていたので、使わずにお持ち帰りとしてそのまま頂きました。空港から送迎車が出ていたので、日本語の判る韓国のガイドさんと一緒に免税店へ。5%割引きの券をもらっていたので、安く買い物ができました。口紅と柚子茶を買いました。そのまままた送迎車に乗って、現代理ジテンスというホテルへ。去年はなかったセブンイレブンがホテル



無事インチョン空港へつきました。

韓国研修旅行体験記



の一階に出来ていたのでびっくり。荷物を解いて、そのまま皆で夕食。何を食べたのか覚えていません（済みません）。ひたすら辛かった気が（辛いのが苦手）。ガイドさんの話によると、韓国は今白菜がすごく値上がりしていてキムチが高いのだそうです。

2日目は朝9時くらいにうどん屋（辛くないので助かりました）で朝食。シーテムン（西大門刑務所記念館）見学。その近くの食堂で朝食を取って、疲れたメンバーはいったん現代レジデンスへ戻り、昼寝などをしました。私も疲れていたの、ホテル組に合流。夕方から韓国労働者集会の前夜祭に参加しました。滅茶寒かったです。カイロ持って行って良かった。前夜祭は22時までだったのですが、体力がもたないということで、女性組だけ一足先にホテルへ。途中の食堂で野菜ビビンバを食べました。おこってもらってラッキー。ホテルのセブンスイレブンでコーヒーなどを買い、各自の部屋へ行って、シャワーを浴びて寝ました。部屋の浴室にはバスタブがありません。

せんでしたので、全てシャワーです。旅行用シャワーセットを持っていったので、それでは髪を洗いました。ドライヤー持参だったので、ホテルにドライヤーありませんでした。で、日本の電気製品は変圧器がないと使えないとのことだったので、変圧器をフロントで借りて、携帯を充電。



本集会へ合流です。

3日目は安重根記念館（伊藤博文を暗殺した韓国の英雄）に行き、ピョンファシジャンを見学。昼食後、チョン・テイル追討集会本集会に参加。二万人くらい集まっていたそうですが、最初機動隊がシャマをしていて合流できなくて、一時間くらい押し問答。何とか合流し、集会に参加した後、チョン・テイルの銅像が立っている橋まで一時間くらい歩きました。これがまたしんどかった。その後タクシーを拾って、3台に分乗してロッテホテルの前で待ち合わせ。屋台村で夕食を取るはずが、つぶれていたの近く焼肉専門店が夕食と相成りました。ここでもおこってもらったのですが、ちょっと高くて一人頭日本円で1万円くらいかかったそうです。うわー。4日目は出国が早いということで、各自セブ

イレブンで買っておいたおにぎりなどで朝食を済ませ、空港までの送迎車に乗って今度は違う免税店へ。ここで韓国海苔やキムチを買いました（吉野家の皆へのお土産用）。一日目に買った口紅は仁川（インチョン）空港の28番ゲートの近くで引き換えということだったので、一緒に買った人と走って（時間がなかったの）引き換えに向かい、空港内の銀行でウォンを円に換えてもらいました。四万円換金してあったのですが、思ったより使わず、二万ちょっと帰ってきました。11時半に再びアジアン航空で離陸。機内食で昼食を済ませ、一時40分くらいに成田空港へ到着。ここで解散し、シャトルバスで帰る人、京成線で帰る人、JRで帰る人と別れました。私は京成線組だったので、4人で大荷物（お土産が重かった）で急いで乗り込み、日暮里で一度降りてお茶。その後新宿まで行って、所長と別れて3人で京王八王子まで向かいました。安い居酒屋があるというので、夕食代わりにそこで3人して飲み、私はあったので、自分の食べた分、飲んだ分



これが本場の焼肉です！

韓国研修旅行体験記



写真を撮っている人もいたよー。

そして、ガイドさんお勧めでお土産屋へGo！車から降りて、ガイドさんも言っていたけど、実は「ancan 韓国特集」にも載っていたコスメ、美思ミーシャを買う面々が勢ぞろい。安くてよいのは、特にマスカラだそうですよ。次に車に乗り込む皆が行くのは、お泊りするホテル現代レジデンスです。シンプルでおしゃれな部屋は素敵過ぎて写真撮ってしまいました。少し部屋で待ったりした後夕食を求めて、夜の街に行きました。何かの店で、多い店の中、「ここだ！」と決めて入った店は海鮮炒めがサイコーでした。サービスキムチ



今夜の夕食はコレでした

は、2種類出ました。まず、白菜キムチ（辛い）と、

人参と青菜の入ったキムチ（にんにくの味がグッド）でした。そう、うさんが今ね、韓国ではサービスキムチを出さないようにしているんだ

よ、サービスで出しても残す客が多いから、ゴミになって問題になっているからなんだ、と教えてくれました。サービスキムチ目当ての私は少し不安になりました。そんなこんなで、楽しいカンパイ夕食は無事に終わり、あとは現代ホテルに帰るだけーと思っていたら、どこからか夜の飲み屋に行こうぜ！とコールが。私もその声に乗っかり韓国の人々との交流が始まったのです。大衆酒場っぽいところに入ったのですが、やはり、始めはマッコリをたのんで、出てきたのが、ドスンと中ぐらいのアルミ製のやかんでした。イイナーこういふのと思いつつ一杯ブハ〜うまい、うますぎるマッコリでした。あとはおでん風のこんにやくなど食べ、おでんの汁は飲み放題で、だしは鳥のダシが効いていました。飲むと陽気になり話しかけたくなくなっちゃって！英語の話せるMさんをたよりに、IT関係の仕事をしている男3人女性1人の仕事仲間の人たちが隣にいたのでいろいろ



地元の若者と交流しましたヨ

ろとお話させてもらいました。なんといつても韓国の人たちは、元気で、さっぱりしているのが韓国語からでもニュアンスで伝わってきています。私はお題のキムチについて、女の人に何のキムチが好きですかあ？と聞いたたら、「チヨンガキムチ！」と言ってました。あとからギャグだとわかりましたが、「チヨンガ」↓独身男の意味だぞ。一発かましてくれたようですね。またお肌がきれいですねと尋ねたら、「キムチのおかげよー」と話をしてくれました。確かに肌によさそう、最近ではキムチの成分が、肌にいいと言っことで、コスメに使われているらしいし、鳥インフルエンザにも聞くといわれているし、確かにカゼも治りましたよ。キムチのおかげで。日本に帰ってきて、元の生活に戻ったらまたカゼを引きなおしたけど。すごいパワーですねキムチ。いい気分でその日を終了することができました。

11月10日、朝おきて、外の景色を見たらもみじが紅葉してました。

今日は一日歩きの日なので朝食をたくさん食べたくさん食べてガンバルぞ！そこで入ったのがシャージャー麵のお店。キムチサービスのキムチは、白菜キムチの浅漬け（歯



見事な麺さばきですね。

韓国研修旅行体験記



ごたえがサクサク、ごま油が効いていておいしい。昨夜うどんを伸ばしていたお店で、その伸ばしていた麺を食べられるのでサイコーでした。あとシューマイを食べました。朝食を食べている途中に、韓国の主婦が、この浅漬キムチ1kgぐらい買っていた。これも白菜不足からかなと思った。

おなかもいっぱいになったところで、地下鉄を使ってソンテムン刑務所に皆で行きました。1999年3月1日、独立宣言を始めた日。皆ものすごい弾圧の中、始まった。すぐには独立できなかった。1945年まで独立できなかった。70年ぐらい植民地状態で、日本が戦争に負けたから独立した。3月1日は、家族みなで始まった大人、子供、老人全て捕まって殺された人々がたくさんいた。ソンテムン刑務所は、このような人々が沢山入れられた場所です。レンガ作りの昔の刑務所の中にも入ることができた。女性の地下刑務所でユグアンスン烈士が入られていた場所も見ました。この女性は18歳で殺された。13〜14才頃から

独立運動に参加し、日本の軍隊に拷問されて殺された。このユグアンスンという女性は韓国で英雄だ。刑務所見学者は、小学生が8割ほどだった。まるで棺おけを立てたような、高さ2m横幅40cm、奥行き30cmの箱に人を2〜3日入れておくと、ふくらはぎの血管が破れてしまつ、座ることもできない、そんなものもあった。子供達は目を丸くして、その箱の中に入ったたり出たりしていた。実際怖くて、中に入ることを躊躇した。牢獄は2畳ぐらいで、日が当たらないので、拘禁性ノイローゼなるんだよとU

さんが教えてくれた。実際地下の人形で拷問を表現した場所は、そこだけ冷気が漂っていて、人形にも命が入っているように感じた。次に進んで、大きな五右衛門風呂だなと思って、Hさんに聞いたら、ご飯を炊くカマだよと教えてくれた。直径3mもあるので、小学生も驚いていた。本当に入れられていた刑務所の小部屋を見た。冷気が漂う中、小学生達が、友達を入れて鍵をかけて出られないかしたりのしている姿が、印象的で、切ない感じがし



ユグアンスン烈士



処刑場の入り口です。

た。生き残った人のフィルムを見た。生き残った人は、2人だけだ。人差し指がおり曲がったり、足の親指は3倍に膨れ上がり、顔には傷のあとが沢山残っていた。処刑場や、死体を運び出すトンネルもあった。小さな子供達は1年に1回くらいは見学に来ているのでは？とUさん、Hさんたちが話していました。次に、延世（ヨONSE）大学のユンドンジュの「叙詩」の碑を見に行きました。ユンドンジュは1937年、同志社大学へ留学。日本で韓国独立運動をして逮捕された。1945年福岡刑務所で息絶える。27歳だった。韓国の人だったら誰でも知っている「叙詩」だ。碑の近くのもみじが京都のもみじのように真っ赤でキレイだった。延世（ヨNSE）大学の学生食堂でキムチチゲ定食を食べた。Y300円だった。キムチチゲに餃子が入っていた。白菜キムチが熟成していて、ゴマが入っていて一番おいしかった。その後行ったのはにぎわいの街、インジンドンだ。そこで、お茶を飲んだ。ゆず茶

韓国研修旅行体験記



は、甘くて皮がおいしかった。韓国の伝統的なお茶も飲んだ。そして、地下鉄で夜の労働運動に参加しに行った。寒さの中、沢山の人が集まっていた。歌や言葉を叫びながら、気持ちを高めてゆく人々。すわり込みで抗議をして、旗を振る人々。機動隊も、とうせんぼをして、中に入るはずのスタジアムにも入れずじまいでした。放水車も、いつ水を撒くのか心配でした。1時間半くらい居座り、女性達だけ先に地下鉄で帰ることになりました。だいぶへろへろになりながら、夕食をとり、ホテルに帰ってゆっくりしていたら、男性陣も帰ってきて、皆でマッコリを飲みながら、女性達が帰った30分後、すごいことになったことを話してくれました。機動隊がこれ以上こないよう、皆が持っていた旗にガソリンをつけてその場は火の海になるぞと脅していたそうです。放水車・装甲車を棒でこぼこぼにして労働運動に来ている人たちは大暴れをしたようです。すごいなー、韓国の労働運動はと思いました。そして、マッコリの夜はふけてい

きました。

次の朝食、キムチが今までよりも大もりだった。カクテキがはじめて出た。カクテキは大根の甘みと熟成で、うまみが出ていた。シヨウガも効いていて、皮ごとつけてあった。白菜キムチは、中付けくらいで、ニンニクが効いていて、ニラが入っている。

朝食をとって次に行くのが安重根記念館です。記念館の中で映画の中で、ハルピン行きの特別列車の中、伊藤博文は、話をしていたそうです。白人種、黄色人種に分かれた中で、日本人は黄色人種を統一しなければならぬといっていたそうです。安重根の考え方は、東洋平和を、ロシア、日本、韓国



デモ隊を囲む機動隊と装甲車



安重根記念館にて

の3国で考えていたので、伊藤博文を生かしていくのは危険だと考え、安重根は薬指を切り、誓いを立てて、世界平和のために1909年11月26日、9時30分ハルピン駅に立ち入り

伊藤博文が乗っている汽車が駅に着いたとき、日本軍、ロシア軍が整列している中、ピストルを出し、3発撃った。伊藤博文は後ろに倒れる。裁判所でも伊藤博文が死ななければならぬ15の罪を、正々堂々と言った。またロシア、日本、韓国の3カ国で平和軍を設立しなければいけないと思っていた。あと、安重根はカトリック教徒で1906年に学校を設立した。国を良くするためには、産業と学ぶことを重んじていた。記念館は花が飾ってあり、大切にされているのが感じられた。安重根記念館の近くにソウルの高尾山と呼ばれている、南山の山へ登った。突然の「登ろうコール」がわきあがったので、少々疲れた体で登っていきました。中腹まで行くと、眼下に効用が見えて、きれいだったです。登っているうちに汗が出てきて、ゼイゼイしてたいへんだったけれど記念に登ってよかったです。帰りは、ケーブルカーで紅葉を楽しみながら降りていきました。次に行くのは労働運動に参加するためにクアンファムンに向かいました。日本でも韓国でも問題となっている正社員と非正規社員の問題だ。（正）は、月給制、年金保険退職金があるが、（非）はない。1日いくらで、



南山記念公園の頂上をめざす

韓国研修旅行体験記



あとは何の保障もない。同じ仕事をしても韓国でも(非)の人々が組合を作ってがんばっている。この時は、労働組合がイラント闘争のところに集まり、大声で叫ぶ。まだ、イラント問題は解決していない。放水車、機動隊、30,000人ほどでた。逮捕者は約200人ほどでた。私達は途中で抜け出したので、大丈夫だった。しかし、集会の中に入るまでがたいへんだった。機動隊に囲まれていて、人を入り込ませない、もみ合って入っていたのが強く思い出に残っている。そして、そこから、チョンゲチョンの遊歩道を歩いて、チョンテイルの銅像があるピョンハシジャンまで歩いて。石畳を1時間半ほど歩いて(皆



集会を取り囲む機動隊

疲れていた)、やっとたどり着き、記念写真を撮った。チョンテイルは、13歳頃から靴磨きやいろいろな仕事をしていた。他の若い人達も、繊維工場で働く(12時間)で、1日の賃金は3,000W(390円)や4,000W(520円)しかもらない。空気の悪い工場で働くためにじん肺になってしまい死んでしまう。入院したらもう終わりだ。チョンテイルは、それじゃいけないと立ち上がり、労働組合を作り、500人ぐらい組合員も集まったが、それでも仕事の劣悪さは変わらなかったため、27歳のときに焼身自殺をする。それを期に労働組合が成立して、徐々に仕事の内容もよくなっていった。銅像には花が置かれていて、堂々としていた。そして、最後の夕食のためタクシードライバーに帰る、焼肉を皆で食べた。サーピスキムチは、白菜キムチと大根の細切れキムチ(ニンニク効いてる、ニラが入ってコリコリしている)、大根白キムチ(コマの風味がよい。やわらかめ)。焼肉は葉っぱに包んで、パクパク食べました。おなかいっぱい！帰り道も皆で25cmぐらいのソフトクリームを食べました。途中で、教会があったので、写真を撮りながら撮りました。教会の雰囲気はとても好きなので中が見られ



ジョンテイル銅像の前で黙祷！

てよかったです。キレイだったなあステンドグラス。これで韓国の研修旅行も終わりにちかづいているのだなあとしみじみ思いました。次の朝、空港へ皆で帰り支度です。内容の濃い韓国研修旅行だったなあと思いました。

韓国研修初体験旅行記

T・Y

今年初めて、ほっとの韓国研修旅行に参加した。今年で4回目の韓国研修旅行ということで、準備もスムーズに進んだように感じている。事前の研修のための学習会も、参加者それぞれが自分で研究課題を決め、インターネットなどで調べて発表したりした。事前学習も十分に行つての研修旅行なので安心して旅行に参加できる。

〔第1日目〕

11月9日、全員が成田に集合して、いざソウルへ出発！となる予定であったが、出国審査にH所長が引っかかり、約1時間ぐらい空港で待機させられた。でも無事に審査を終えてやっと機内へ移動することができた。韓国へは初渡航のあーちゃん、ディクシーさん、Nさんらの女性陣は幾分興奮気味



近いねソウルは。もう着いた

韓国研修旅行体験記



と見えた。韓国ソウルの仁川(インチョン)空港に着くまでにかかった時間は約2時間半、これでは国内となんら変わらないな、お隣の国までこの時間なら、ちよくちよく来ることもできるな、なんて思いながら、旅行会社が手配してくれた車に乗って、宿泊先のホテルの現代レジデンスへ向かう。途中免税店に寄ったが、早くも女性陣が買いたくったようだが、あまり面白い物に興味がない僕とMさんは、免税店の外を散歩して時間をつぶしたり、通訳のウーさんの日本語があまりに流暢なので、少し話したりした。現代レジデンスは明洞(ミョンドン)に近く、設備も整ったお勧めの宿泊施設。フロントの日本語対応も万全、インターネットも表示だけなら日本語対応OK(でも入力はできません)。1階には24時間営業のセブンイレブンも新規開設されていました。

夕食は明洞(ミョンドン)の食堂でとる。ハングルができず、片言のハングルとポディランゲージで、やっと注文。でもアルコールも入っていない気分になって旅の疲れを取ったあと、現代レジデンスへ直帰したが、さすが若い(?)ディクシーさんとアーちゃんなどの酒豪グループはこれまた初参加のMちゃんを率いて居酒屋での二次会展開へ向かい、地元のIT企業に勤務している方と早くも日韓「草の根」交流をしたそうだ。

〔2日目〕

11月10日は、メインスケジュールが西大門刑務所記念館見学と、韓国民主労総の前夜祭への参加。近くの食堂で朝食をとったあと、地下鉄とバスを乗り継いで西大門刑務所記念館へ午前11時前後に到着。第二次世界大戦前の日本の植民地下で抵抗した独立闘争の闘士たちが捕らえられた刑務所で、その施設と跡地がそのまま記念館となっているところだ。当時の牢獄や拷問設備、その他武器等がそのままの形で陳列されているほか、当時の状況を伝えるドラマがホログラムによって上映されていたのには驚かされた。地元の小学生だろうが、社会科の授業の一環だろう、先生と一緒に大勢来館していた。やはり民族の主権・国の独立が侵された過去の歴史をきちんと新しい世代に伝えることに力をいれているのだろう。いま日本では歴史問題、教科書問題をめぐって様々な意見が吹き上がるが、侵略され、国の主権を奪われた側としては当然のことで、日本人としても真摯にこの事実を見なければならぬと改めて思わされた。この見学の後、ホテルに帰るグループ(女性陣が中心でやはり疲れがたまった)と延世大学見学組と分かれて行動、午後18時をめぐりに前夜祭が行われるワールドカップサッカー会場前に集まるこ

とになった。

前段集会は、夜7時ごろから続々と労働者の方々が結集するなか、警備の機動隊も配置され緊張が高まった。装甲車をデモ隊が囲んだりして若干の小競り合いがあったが、日本から参加した労働者の方の連帯発言があったりした。前段集会がすこし緊張したので、女性陣は早めに解散、残ったメンバーも午後9時をめぐりに岐路に着いた。

ホテルにもどると、酒豪のテクシーさんが、マッコリのボトルを持ってニコリと待っていた。やっと緊張から開放された開放感からか、またマッコリの飲みやすさからか、ボトルを空けつつ、今日の研修の成果を語り合った。(しかし、改めてディクシーさんのアルコールの強さには驚かされる。つけたニックネームは「横綱」。本人は大関だといっているが、でもほどほどにしないと、肝臓いかれるね。)

〔第3日目〕

この日は、午前中に安重根(アンジュンゴン)記念館見学と11・11の本集会への参加およびジョン・テイル銅像を訪れることがメインスケジュール。研修もいよいよ最後、大詰めだ。安重根記念館は地元



おじさんにはこたえました。寒さが!

の人も行くのが難
しいらしく、ホテ
ルのフロントの方
のすすめもあって、
皆タクシーで行く
ことにした。しか
し、Mちゃん、T
Y、広海さんのグ
ループに乗ったタ
クシーの運転手
のおじさんが間違
った方向へ行っ
てしまい、安重根
記念館へ着いたの
は相当遅れてしま
った。(タクシー
のおじさんは苦笑
い。ハングルは通
じなかったが、
なんとなくそのテ
レシがわかった)。
独立闘争の闘士
安重根記念館を見
学した後、すぐ隣
にある南山記念
公園を見学。かな
り小高い丘になっ
ており、頂上まで
行くのに相当な体
力と時間がかっ
た(ほとこの
プログラム「散歩
の会」で高尾山登
山をしているみ
たいな感じだっ
た)。下山は皆の
希望でロープウ
ェイを使う。耳を
すますと日本語を
話す方も相当い
て(当然日本人で
観光にきているの
だろう)、日本と
の距離の近さから
当然か!と感じさ
せられた。下山
後、本集会が行わ
れる明洞(ミョン
ドン)の光化門
(クワンファムン)
へタクシーで移
動。すでにソウル
庁舎前には数万(主
催者発表)のデモ
参加者が結集、警
備する機動隊(新
聞報道では23,0
00名)が周りを
囲み、ブロックし
て集会に参加で
きない状況が続
いた。近くのミ
スタードーナツ
風のファ



南山公園頂上にて記念撮影

ストフード店で
昼食をとりつつ、
状況把握に努め
た後、集会が行わ
れている地下鉄ソ
ウル市庁舎駅近
くに移動、スキを
つけて集会に参
加した。集会には
多くの労働者が
参加していたが、
車椅子に乗った
障害者の方々も
数多く参加して
いたほか、日本
語で書かれた旗
もなびいていた。
集会終了後、午
後5時ごろだろ
うか、光化門通
りを目指した流
れ解散デモと別
れ、ジョン・テ
イル銅像が建っ
ている場所を指
して、約1時間半
歩いたのである。
(翌日の報道で
知ったのだが、
このデモはアメ
リカ大使館を指
して、先頭部隊
は装甲車を乗り
越え、機動隊の
放水を浴びつつ、
抵抗。双方にけ
が人が出たほか
100名以上のデ
モ参加者が逮捕
されたという)。
ソウル中心街の
地下を流れる川
(というか水の
流れ)に沿って
直進すること約
1時間半、あたり
もところりと暮
れまたかなり冷
え込むなか(さ
すがソウル、か
なり冷えまし
た。寒かったです
)、目指すジョン
・テイルの銅像
が建っている場
所に到着。今日
の集会に参加し
たであろう労働
組合関係らしい
方も大勢来て
いた。胸像の前
で記念写真を
撮った後、最後
の研究のため(最
後のソウルナイト
の体験です)、再
び明洞(ミョン
ドン)へ向かい、
所長推薦の本場
の焼肉レストラン
に飛び込んだ。
店員の薦めるメ
ニユーを見て(な
んせハングルが
わからない中で
の身振り手振り
の「会話」だっ
た!)注文を済ま
せ、本場の焼肉
を皆でパクつい
た。うまかった。
昼間のハードな
研修に疲れた体
にアルコールが
染みわたり、い
い気分になって、
さあ、お勘定と
なって、びっく
り。

なんと日本円で
一人1万円以上
を請求されたの
だ。青くなった
H所長とU運営
委員長は、ハン
グルがわからない
のもなんのその
、店側と値引き
交渉を展開した
が、ほとんど受
け入れられなかつ
た。(でもH所
長とU運営委員
長が全て支払っ
てくれました。所
長、運営委員長
ありがとう。研
修参加者一同感
謝です)。明洞
(ミョンドン)か
ら宿泊先である
現代レジデンス
は徒歩30分ぐ
らいの距離。歩
いて移動して現
代レジデンスに
向かうが、途中
にある明洞大聖
堂(民主化闘争
の拠点となった
ところ)によつ
て礼拝。その後
、テイクシーさ
んは「横綱」ら
しく(なんのこ
っちゃ)2日目の
居酒屋での2次
会を主張、居酒
屋を目指したが
、当日日曜のため
閉店、明日が帰
国で朝が早いた
め、岐路に着き
ました。(が、テ
イクシーさんは
ホテルに帰った
後もマッリを
楽しんでさう
です)。(第4日
目)

帰国のため皆、
7時起床で、仁
川(インチョン
空港)に向かう
。途中お土産店
によりみな思い
思いに韓国土
産を買った。特
にあーちゃん
ほか女性陣はバ
ックに入りきら
ぬほどにご家族
、ご友人の皆様
方への土産を
購入。帰国の仁
川(インチョン
)空港での出国
審査では、事前
の予想に反して
所長の審査も比
較的スムーズに
進み、PM3時半
には皆無事に成
田に到着しまし
た。韓国研修旅
行に参加された
会員の皆様、大
変ご苦労様で
した。

〔研修旅行を振り返って〕

自立支援法反対 10・30集会開催さる

今回の研修では、韓国の社会運動・労働運動の激しさを見せられたとともに、かつて植民地にされた事実を記念館という形でのごし、若い世代にきちっと教育している現実を見せられたことは、日本人として把握しておかなければならないことだと思ふ。現在日本のマスコミでは、第二次世界大戦があたかも「自衛戦争だった」かのようには語られ、アジアの人々に多大な迷惑と犠牲を強いたことが軽んじられていると思ふのは私だけだろうか。過去の事実は過去の事実として反省し、その上でしか新たな友好関係は築かれまい。また、今回は韓国の障害者運動との交流や福祉施設の研修が少なかったように思ふ。コンタクトを取るのにはなかなか難しいと思ふが、やはりそうした方向での研修も進めていかなければと感じた。

《自立支援法反対10／30集会》

私たちが抜きに私たちのことを決めないで！今こそ変えよう「障害者自立支援法」10／30全国大フォーラムが10月30日、日比谷野音で開催され、6,500名を超える障害者とその関係者、支援者が集まりました。この集

会は、自民・公明の与党から民主、共産、社民党までの野党の議員を招き、パネルディスカッションがメインとなりました。昨年より参加者数は少なかったようですが、参



厚生労働省前集会にも結集した人々

議院での与野党逆転という状況下で、今後の自立支援法の撤廃を進めていく上で、節目となる集会だったと思ひます。ほっとからも多くの会員が参加しましたが、さらに自立支援法の撤廃の運動を全国の障害者の仲間と進めていかなければならないと改めて感じさせられました。またこの集会と同時並行的に厚生労働省前でJL(地域生活センター)の方々を中心に抗議行動が展開されたこともあわせて報告させていただきます。(文責 編集委員会)

私たちが抜きに私たちのことを決めないで！今こそ変えよう！「障害者自立支援法」10・30全国大フォーラム

《緊急アピール》

私たちが声を発する。社会を変える。歴史を

切り拓く。

昨年4月、私たち障害者や関係者が反対の声やさまざまな疑問を投げかけたにも関わらず、強引にスタートさせた「障害者自立支援法」は、障害者の地域での自立生活を支える法制度ではないことが、ますます明らかになりつつある。

この法律は、応益負担の導入をその中核とするものであるが、私たちの全国的な運動の広がりや波によって、政府・厚生省は、昨年末、1,200億円の特別対策を打たざるを得なかった。更なる軽減措置はとられた。しかし障害が重ければ重いほど、多くの負担を課すという基本的考え方は変えていないのである。

加えて、未だに「障害の範囲」から抜け落とされ、障害者としてのサービスを受けられない仲間もたくさんいる。

そして、介護保険になぞらえた支給決定の問題は、一向に解決されず、地域生活を厳しいものへとさせている。国庫負担の問題から市町村によっては、長時間介護サービスに大きな影響を与えている。地域生活支援事業となった移動支援や手話・要約筆記等のコミュニケーション支援、相談支援事業、地域活動支援センター等は、大きな地域間格差が生まれている。

昨年、障害者の権利条約が国連で採択された。国内の障害者のおかれている厳しい状況と、この権利条約には乖離がありすぎる。今、世界の「先進国」

日本の社会福祉政策のありようが問われている。現在国会には、「障害者自立支援法改正法案」が提出され、与党も「障害者自立支援法の抜本見直し」を掲げて、審議が始まろうとしている。

私たち一人ひとりの力は弱い。しかし硬いスクラムを組めば強い力を発揮できる。市民や国会を巻き込み、「障害者自立支援法」の抜本的出直しの大きなうねりをつくっていききたい。この抜本的出直しは、権利条約に基づく国内法の整備の出発点となる。

私たちは上記の認識と、障害のある人もない人も高齢の人も若い人も、安心して暮らせる真の豊かな福祉社会の実現を求め、以下アピールする。

記

1、日本の障害者予算はOECD諸国の中で低位の状況にある。障害者予算について積算し直し、大幅な予算の確保を行うこと。

2、障害者の権利条約にふさわしい障害者施策、地域生活のサービス基盤整備のための特別立法を含めて、真に障害者の自立・地域生活支援に向けた制度確立を、決して私たち障害者を抜きに行うことなく、障害当事者の参画の場を保障し、行うこと。

3、障害者の生活を直撃している「応益負担」を廃止し、障害者本人の実態をふまえた負担への変更を行うこと。又、手話通訳・要約筆記等のコミュニケーション支援は、音声言語に代わる言葉としての特性を踏まえ無料とすること。

4、「障害者自立支援法」の附則にある「障害の範

囲の見直し」、並びに「所得の確保」に関して、この間政府ではほとんど検討がなされていないことをふまえ、早急に当事者の参画が十分保障された検討の委員会を立ち上げ、自立した生活ができるように現行制度を改正すること。

5、支給決定の仕組みを根本からあらため、障害者一人ひとりの生活要求に基づいたサービス支給決定が行われる仕組みとすること。また重度障害者が地域で長期間サービスを受けられるように、自治体に対する補助を別途十分に行うこと。

6、現行の日割り制度がそぐわない事業に対する早急な見直しを含め、「報酬単価」・体系の全面的な改善を行い、介護、日中活動、及びケアホーム等、諸々のサービスの安定化を図ること。また、人材確保を目的とする法制度を緊急に整備すること。

7、精神障害者への新たな隔離政策である「退院支援施設」は撤回して、当事者活動への支援・退院促進事業・住まいの確保策の充実など真に地域で暮らせる基盤を整備すること。

8、障害児の支援について現行の「障害者自立支援法」の枠組みではなく、「子ども」の権利の観点からつくり直すこと。

《11/4労働者集会へ参加して》

11/4日比谷野音集會に参加して 本郷哲也
去年に続いて今年も日比谷野音の労働者集會に参加しました。朝10時に京王線新宿駅出口専用改札で、堀部さんと待ち合わせをして、丸の内線に乗り

込み、霞ヶ関まで行きました。集會の間は座ったまま眠りかけていましたが、最後の合唄はよかったです。それからデモで東京駅まで行き、夕ご飯はほっとのおごりで新宿駅東口の大戸屋で7人で食べました。何を食べたかちよっと思ひ出せませんが、僕は串かつがよかったです。



皆、元気に参加しました

11/4労働者集会 テイクシー

10/30、日比谷野音の労働者集會に参加した。全国大会ということで、かなりの人数だった。そこではいろんな団体が発言し、パフォーマンスしたりしていた。その中で30代半ばくらいの人が停職処分になれながらも賃金カットやボーナスカットをなくすなど頑張っていた。労働者も雇用者に負けずたかわなければならぬと思った。

11/4 日比谷集會

渡辺広海

本当にたくさんの方が集まっていました。みんなすごいなあと感心。私はみんなと手分けしてほっとのニュースを売りました。なんと107部も売れました。すっごくうれしい。ほっとに関心を持ってくれる人がこんなにいるなんて。集會は大成功でした。

日帰りフロッピーツアーも楽しかったヨ

来年もまた絶対参加するぞ。10月30日もほっとのニュースを100部売りました。11月4日の集会は労働者集会でしたが、10月30日は障害者の集会でした。盛り上がりによってよかったです。

11/4労働者集会に参加して

山口咲子

日比谷野音の集会に参加してあまりの人の多さにびっくりした。その中で私はほっとのニュースを10部売りました。ほかの人はもっと売っているみたいだったけれど私は10部で精一杯でした。早く帰りたいかったです。れど結局、最後までつき合いました。帰りは日比谷から東京駅近くの公園にデモ行進して、シュプレヒコールをしながら叫んで歩いていきました。その日は蒸し暑くやっこのことので家に帰りました。

《フロッピー日帰りツアー》
高尾フロッピー日帰りツアー
に参加して
山口
咲子

11月9日(金)、斉藤さんの運転で私たちはフロッピーに行った。お

風呂に入って昼食をとり、レストルームに入った。そこはソファとテレビが一對となっている部屋だった。あまりの心地よさにいびきをかいて眠る人もいた。そんなことをしているうちに帰る時間となり「ほっと」事務所の前で解散になりました。とても楽しい一日でした。

フロッピー日帰りツアーに参加して
お風呂にうちょう入り、満足しました。その後
NaO



大満足のツアーでした。

ネットカフェ(1時間100円)にいった「三丁目の夕日」を見ました。泣けました。「続三丁目の夕日」もいま上映中。観たいと思います。

日帰りツアーフロッピーに参加して

MIKE

11月19日の朝、天気は良くなかったが皆が集まり予定通り、ツアーを決定した。まずはじめに「八王

子城跡」へと到着、紅葉狩りを兼ねて散歩していると山の空気がひんやりとして少し寒かったが、御主殿の滝へと向かって歩いていくと残念なことに「工事中」の立て札があり先へは行けなくなっていた。O氏の携帯カメラで集合写真を撮り少しな残り惜しく、偶然出会った大きな「わんこ」にもサヨナラして、フロッピーへと向かいました。私はフロッピーに数回行って慣れているので勝手がわかっていることもあり、何種類もある湯船に入浴し、ゆったりとレストルームで体を休めた後、職員さんと皆で申し合わせて昼食をとることとなった。皆各々で好みのメニューを選び注文しましたが、私は「ミニカツ丼」という、ミニサイズのカツ丼に数種類のおかずがついているものに決めました。茶碗蒸しなどもあって美味しかったです。メンバーと会話もできたし和やかな雰囲気でした。時間的にはもう少しゆったりしたかったとも思うが、ツアーは成功と思っています。ツアーの計画を立案し、プリント作成を手がけてくださったS氏、ありがとうございました。

日帰り温泉旅行
ロス

11月9日、韓国研修旅行の居残り組、会員7名、職員1名で高尾の湯「フロッピー」へ行って来ました。温泉の前に八王子城跡公園に散策に行っていたのですが、残念ながら橋が工事中で通行止めだったので早々に引き上げて温泉に向かいました。高尾の湯はフロッピーは温泉の他に芝居の見える食堂、いくつかの飲食店、アカスリ、マッサージ店、ネットカフェ、

カラオケ、麻雀室、仮眠室などを備えた総合レジャー施設の健康ランドのような所でした。内風呂には寝湯、ジェットバス、薬湯、檜湯がありました。露天風呂は天然温泉でした。

その日は気温が低かったので露天日和で気持ちよかったです。いつも行くのは普通の温泉で、健康ランドは初めてだったのですが、こういう所もいいなと思えました。今回、幹事をさせてもらったのですが、行き帰りの車中も和気あいあいとしていて特に問題も起こらず、また職員の助けもあったので大変な幹事でした。またみんなどこかに出掛けたいと思いました。

《自閉症裁判傍聴記》

自閉症裁判傍聴記 山口咲子

10月30日に自閉症裁判が八王子地裁であった。わけのわからない間に始まり、終わりました。裁判はあまり理解ができませんでした。勉強不足もありこれから勉強してから参加したいと思います。

《俳句コーナー》

俳句 MIKE

餅ついて 街の空気は 年忘れ
皆集い 酔いに任せて 初日観る
年明け 門にあいさつ 猫ボツリ

《新会員紹介》

●自己紹介 直さん

新しく入った直さんです。直は率直の直です。1953年(昭和28年)9月19日生まれ。誕生日にはよろしく願っています。星座はおとめ座。乙女のような素敵な人間です。男ですけどね。ほっとするスペースで楽しく笑顔で、適当にやっ



討論にも積極的に参加しています

ていくつもりです。ときにはバトルもいりません。愛と平和と自由のために。

●自己紹介

ロスロ

はじめまして。10月に正式に会員になったロスロといひます。統合失調症で退院して8年になります。色々な症状がありますが、何とか長生きしようと思死です。趣味は美術館に行くこと、サッカーをやること(たまにプレーにも参加します)、



少し疲れたかな

色々な音楽を聴くことです。そしてなんといいとも一番の趣味は温泉です。30歳を過ぎて温泉にハマりました。特に寒い時の露天風呂が最高です。今年はずでに14回いってます。これからも行き続けたいです。どうぞよろしく願います。

●初志貫徹 秋山健太郎

秋山健太郎といひます。秋に生まれた健康な子。ところが、いつのまにやら心が風邪を引いて病にかかってしまいました。好きな言葉は「初志貫徹」、能の言葉では「初心忘るべからず」、基本が大切、初めての新鮮な驚き。趣味はテニス、ゴルフ、スキー。年に何回かやるのが楽しみの一つ。十五歳の年から死を読み、かつ自分でも書いてきた。いわばこれが初心にあたる。

最近、細々と文通を続けてきた人とが、海外青年派遣団の一員としてアフリカに旅立った。その時ふと、心のメモリアルのような詩が浮かんだ。それを記す。

花火

あなたが旅立った後
で
小さな花火を打ち上げた。
心の中でもはぜる声
がした。
声は梢のように元
で届こうとしていた。



スポーツの会に参加して

あなたが旅立った後で

花火はとむらいの火とも言われている。むろん自分は祝いの気持ちをこめて作った。まず始めよう。小さな詩から。

《新職員紹介》

2007年10月末より非常勤職員としてお世話になっております。最初知人より職員の仕事を聞いたとき、自分はこれまで精神障害者やその作業所に関する知識がほとんどなく実際に精神障害者といわれている人達と接する機会もなかったため、精神病に関する本などを読んでもそれがいったいどんな病気なのかなかなか具体的に想像することが出来ませんでした。そのため精神障害者とはどのような人達なのだろう？作業所というのは何のためにあるのだろう？またそこで自分は何が出来るのだろう？と思っていました。また日本の障害者福祉に関する知識もほとんどなく実際に当作業所に勤めることになって初めて「障害者自立支援法」のことを知りました。現在、日々会員・職員の方達と接する事によりまた幾つかの集会・講習会などに参加する機会を得て、精神障害者といわれている人達の病気やそれによる切実な問題、地域社会のかかわりの重要性、そのための「ほっとスペース八王子」の役割、そしてそれらの将来にとってとても重要な「障害者自立支援法」に関して少しずつですが自分なりに理解し始めているという状況です。

また11月の韓国研修旅行では韓国の労働者の集会に参加しまた安重根記念館等を訪れることができ、時代や地域をこえた弱者と権力の関係の具体的な現場や歴史を知る機会を得ましたが、自分の勉強不足もあり韓国の福祉の現状を理解するにはいたりませんでした。2008年の抱負としては、日本ではここ数年「引きこもり」という現象が注目されていますがタイ国チエンマイにおいて「引きこもり」の人達を主な対象とした支援の場を計画しています。タイは微笑みの国・癒しの国といわれていますがなかでも北部のチエンマイは気候も温暖で治安も比較的良好く、日本人の間でも定年後の第二の人生をすごす場所として人気を集めています。「引きこもり」の人達にとって現在の閉塞した日本での日常生活から離れてチエンマイというこれまで知ることのなかった環境のなかで実際に一定期間の生活をするという体験は、自立にむけての有効なきっかけになるのではないかと思えます。

知識も経験もない私ですが皆さんの苦痛や困難を理解し共感することによって



ソウル、インチョン空港にて写す

ともに生きていくことが出来ればいいなと思っています。それでは2008年がみなさんにとって良い年でありますように。（非常勤職員 M）

《資料 韓国民主労総の集会関連記事から》

《世界に配信されたソウル発AP電ニュース》

昨日（2007年11月11日）、米韓FTAに反対する集会で、数万の農民、労働者が機動隊と衝突した。デモ参加者の一部は、シールド付きヘルメットと盾を装着した機動隊に棒や石を投げ、また、デモ隊がソウル市内の集会場に入ることを阻止するために設置されたバスをひっくり返して抵抗した。機動隊は、デモ隊に対して高圧放水銃と消火器を使用した。デモ参加者は、FTA 反対を叫んで、16号線道路を占拠、デモ参加者100人以上が逮捕され、10人以上の機動隊が負傷した。主催者側によると、デモ参加者の50名以上が頭部の負傷により被害を受けた。

集会参加



インターネットニュースから

者は主催者側発表で50,000人、警察当局は推定20,000人と発表。

「我々は、社会のマトを一段と深めるがゆえにFTAに反対する」とソウル市庁舎での集会主催者の一つである韓国民主労総(Korean Confederation of Trade Unions)のスポークスマン、ウームンスク氏(Woo Moon-sook)氏は語った。

両国の担当責任者は、数ヶ月に及び困難な交渉を経て、広範な製品その他のサービスについての関税その他の貿易障壁を低減乃至は削除することに同意して、この協定を6月に調印した。

この提案が有効になるためには、両国における議会の承認を得なければならぬ。韓国政府は今年9月、協定の承認を得るために国会へ提出した。FTA協定は、10年前の北アメリカ自由貿易協定以来の、韓国にとって最大規模のアメリカとの自由貿易協定である。両国はこの協定は成長を促進すると発表しているが、いくつかの政治グループ、韓国における農民団体、アメリカにおいては労働者団体が反対を表明している。

調印されたFTA協定は韓国の主要生産物である米を除外しているとはいえず、



インターネットニュースより転載

農民は、他の農産物がアメリカから輸入されると彼らの生活が危機にさらされることを恐れている。この集會に参加した農民のリアングスー(Lee Young-soo)氏は、「農民は自由貿易協定の最大の犠牲者である」と語った。



インターネットニュースより転載

●組合作り・労働相談

共に考え、共に解決しよう

現代はまさにストレス社会。職場におけるノルマや対人関係、学校における競争や人間関係、過程における親子関係…。このような社会では誰もが心の病気になることも不思議では有りません。しかし、社会の心の病に対する理解はまだまだ不十分。一部のマスコミは病者への予断と偏見すらあおっています。「心の病」は現代病です。

●会員になろう

病気で悩んでいる人、苦しんでいる方へ。一人では解決できないときは、ほっとスペース八王子の会員になろう。仲間が相談にのってくれるよ。

●ほっとには仲間がいる。お気軽にご連絡を。専門スタッフが対応します。

TEL 042-6288-2319 (午前12時～13時・15時～19時)

《編集後記》

明けましておめでとうございます。「光陰矢の如し」のたとえを待つまでもなく、あっという間に2007年も暮れ、早くも2008年となりました。あらためて皆様方に、いつも変わらぬ「ほっとスペース八王子」へのご支援、誌上を借りますのであつく御礼申し上げます。さて、昨年は、参議院選挙における与党(自民・公明)の歴史的敗北によって、政治状況が大きく変わり、私達障害者にとっても、自立支援法の撤廃に向けて、節目となる年だったと思います。しかし樂觀は許されません。精神障害者の共同作業所である「ほっとスペース」にとりましても、自立支援法撤廃の運動を進めつつ、より地域に根ざして、「ほっとな空間」を提供し、多くの会員にとって、なくてはならない「ほっとスペース八王子」を作っていくかなければならないと思っています。存続することができるとかどうかを賭けた年になるだろうと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(編集部)